



大空へ向って飛び立とう（あらと保育園）

議会だより しらたか

9月定例議会

22年度決算を全会一致で認定 …… 4p

Vol.112

2011. 10. 24

(平成23年)

- ・ 予算編成に向け政策提言 …………… 3p
- ・ 町への質問・提言（3議員が一般質問）…… 10～12p
- ・ 除雪体制が変わる …………… 13p

原子力発電所の廃止を 求める請願を採択



蚕桑湧泉パーク



蚕桑小学校内



太陽光発電（荒砥・八幡二公民館）



東京電力福島第一原子力発電所

● 定例議会は、9月6日から15日まで10日間の会期で開かれました。

● 本会議に提出された議案は、

① 22年度各会計歳入歳出決算

② 白鷹町町税条例等の一部を改正する条例など
条例3件

③ 23年度各会計補正予算

などですが、審議の結果、原案のとおり可決
しました。

● 町道佐野線の道路整備、原子力発電所の廃止、
地方財政の充実・強化に関する請願3件は、全
会一致で採択となりました。

● 一般質問には3名の議員が、町の均衡ある発展
人材育成とスポーツ交流施設、食育・農工商観
連携・桜交流などに論戦を展開しました。

● 任期満了の教育委員会委員には、吉田博之氏を
全会一致で同意しました。また選挙管理委員会
委員4名及び補充員4名を選任しました。

さらなる充実を求め政策提言へ

昨年12月議会に引き続き、平成24年度予算編成を念頭に、議会として今後の行政施策立案および事業執行にあたり、さらなる充実を求めるため、次の政策提言をしました。

1 福祉施設などの充実

若い人たちが安心・安全に出産し、明るく元気に子育てができるように医療機関とのネットワークの構築を求めたい。お年寄りが元気に安心して生活できるように介護予防事業の充実に努められたい。

2 防災体制の強化・充実

このたびの大震災を教訓に、防災センターを核とした町防災計画を早期に策定し、地域防災組織とも連携を強化するなど、災害に強いまちづくりに努められたい。

3 職員の資質向上と行財政改革の推進

職員の民間交流や研修の充実による資質の向上をは

かるとともに、町民ニーズに対応できる適正な人材配置を行い、経費節減なども含めて運営改善や事務の効率化に努められたい。

4 地域高規格道路

米沢・白鷹ルートについて

荒砥橋の架け替えは実施に向けた計画段階に入っているが、白鷹町の西部を通る長井・白鷹間の道路計画が示されていません。関係市町と連携のもと、早急なルートの決定に努められたい。

5 白鷹町産業の活性化策の構築

町産業センターを核とした農・工・商・観の連携による第6次産業の確立をはかり、遊休農地の有効利用を含め、町産業のさらなる活性化に努められたい。

町産業センターを核とした農・工・商・観の連携による第6次産業の確立をはかり、遊休農地の有効利用を含め、町産業のさらなる活性化に努められたい。

23年度内に実施設計を発注

9月12日の総務厚生常任委員会、子育て支援拠点施設整備事業の進捗よく状況の説明があり①基本構想策定の委託業者が指名競争入札で(株)本間利雄設計事務所に決定したこと②年度内に実施設計を指名競争入札で発注すること③統合保育園(蚕桑・鮎貝)・常設の子

育て支援センター・放課後児童クラブ(学童保育)の運営は、社会福祉協議会にお願いすること④子育て支援センター・放課後児童クラブの施設は、町が設置する施設に補助があり、財源面で有利なので町が整備することとした。



すこやかあそび広場 (健康福祉センター)

平成22年度決算は、9月9日に決算特別委員会（議長と監査委員を除く12人）を開会し、11会計を審査しました。

9月15日の本会議で、採決の結果、全会一致で認定しました。



守谷丹吾 委員長



大豊作さつまいも掘り
(あらと保育園)

平成22年度各会計決算額表				
会計項目		歳入（町の収入）	歳出（町の支出）	
一般会計		80億2073万円	75億1401万円	
特別会計	十王財産区	96万円	29万円	
	下水道	7億3629万円	7億1898万円	
	国民健康保険	16億1958万円	15億3246万円	
	老人保健	468万円	468万円	
	農業集落排水	1億3139万円	1億2630万円	
	介護保険	13億8818万円	13億6029万円	
	後期高齢者医療	1億4135万円	1億3996万円	
企業会計	水道	収益的収支	3億2418万円	2億7779万円
		資本的収支	1423万円	1億7847万円
	病院	収益的収支	11億3866万円	11億4221万円
		資本的収支	2024万円	1億3128万円
	訪問看護	収益的収支	3134万円	3075万円
		資本的収支	0万円	128万円
	合計		135億7181万円	131億5875万円

※万円未満は端数を整理しています。

討論

賛成討論 山田 仁 議員

平成22年度の一般会計は歳入80億2073万円を確保した上で、歳出は75億1401万円で収支差し引き5億672万円の黒字となりました。単年度収支でも8183万円の黒字であり、良好な財政運営だと判断します。しかし、自主財源である町税が前年比7.9%減少しており、臨時財政対策債の増加でまかなっていることなどから、依然として財政状況は厳しいといわざるを得ません。

保育所民営化や子育て支援拠点施設の整備・運営の検討開始、産業の連携強化の拠点施設として「白鷹町産業センター」の整備、荒砥高校総合支援事業などの継続案件の方針決定や関連事業、さらには白鷹町独自の取り組みなども多くあります。これらは、町民ニーズを反映した適切な事業と思われる。

地方、国を問わず財源の確保は大きな課題であり、むしろ困難さを増しています。そのようななかでの平成22年度の事業は、総じて果敢な取り組みであったと評価し賛成討論とします。

一方、経常収支比率が前年度を4.3%改善したことは当局の努力の結果でもあり公債費比率が11.1%、起債制限比率11%といずれも前年よりも改善し、財政運営の警戒ラインを下回っていることは、大いに評価します。

全会一致で決算認定

平成22年度に行った主な事業

デマンド型交通運行事業	1225万円
白鷹人育成基金積立	3000万円
戸籍総合システム導入事業	6510万円
しらたか元気っ子事業	1194万円
延長保育事業	1200万円
子宮頸がんワクチン接種費用助成事業	278万円
創意工夫プロジェクト支援事業	971万円
住宅需要拡大促進事業	1628万円
商業活性化促進事業	299万円
道路改良事業(赤坂深山線)	9939万円
道路改良事業(荒砥駅本宿線)	1039万円
四季の郷住宅団地整備事業	7373万円
スクールバス運行管理事業	1699万円
スクールバス車庫新設事業	3023万円
町史編さん基金積立	1400万円



どうなる？ まちの財政力

区分・年度	22年度	21年度	20年度	説明
財政力指数	0.257	0.268	0.274	1.00に近いほど余裕がある。
経常収支比率	88.9	93.2	92.2	70%に収まることが妥当。80%を超えると危険ライン。
自主財源比率	23.8	24.5	26.0	町税、固定資産税など自ら調達できる財源。
公債費比率	11.1	13.1	15.8	20%以上は赤信号。
実質公債費比率	17.0	19.1	21.1	公営企業等も含む。18%以上は起債(借金)に県の許可が必要。

監査意見書

全職員が町民目線で

平成22年度予算は引き続き行財政改革を着実に進めながらも、第5次白鷹町総合計画の総スタートの年として、限られた財源のなかで新規事業も含めて積極的に推進する観点で策定されました。

地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が大幅に減少するなか、緊急雇用対策や緊急経済対策、地域活性化対策など、国、県

との連携のもとに補正予算での対応を積極的に実施して各事業に取り組み、景気の回復に努めるなど努力と苦勞の跡が伺えました。結果として実質収支や単年度収支、実質単年度収支とも黒字となりました。

財政に関しては、交付税前倒し感が不安視されるなか、基金の積み増しをはかり財政の健全化に努めていることは評価されます。

事務委託の随意契約は、起案文書に既決予算、根拠法令と理由、積算根拠または原価計算による見積りの精査内容を記載し、進捗管理、業務完了届、確認または検査を行い請求書による請求、支払と着実な手続きをされることが望まれます。

今後、全職員が町民目線で温かい心かよう姿勢による業務遂行を特段に期待します。

代表監査委員 小林 泰史
監査委員 遠藤 幸一

歳入
(町の収入)

質 疑

保育料の未納

【議員】 児童福祉費の不納欠損額206万円の内容を伺います。

【当局】 平成8年度から17年度まで9年間分の保育料の未納分で、10名の納入義務者、延べ115件分を不納欠損したものです。

主な理由は、転出などにより所在不明となり督促をしても納入いただけなかったということです。

450万円を
保育園費に充当

【議員】 電源立地地域対策交付金450万円がなぜ当町に交付なるのかと、児童福祉費補助金で歳入として受けている理由を伺います。

【当局】 国の電源立地策の一環として※電源三法があり、そのなかで当町は直接の電源立地地域ではありませんが、電源立地施設の周辺地域（水力発電ダム）として

交付金が算定されるものです。

交付金は地域振興などに充てるということがあり、町では特に子育て支援を重点的に取り組んでいる状況があるので保育園費に充当するものです。

収納率を高める

【議員】 徴収アドバイザーによる未納対策の指導で収納率を高めているということですが、その効果を伺います。

【当局】 個別訪問や督促などで、なかなかすすまないでいる具体的な事例での、専門的・法的な手続きや不納欠損処分のすすめ方などにアドバイスをいただきました。

その成果は、すぐにあらわれたものとこれから具体的になるものも含め、たいへん参考になりました。

※電源三法
電源開発促進法・電源開発促進対策特別会計法・発電用施設周辺地域整備法

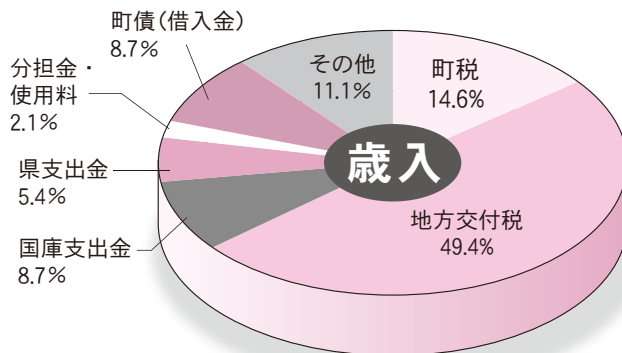


おゆうぎに集中（ひがしね保育園）

平成22年度一般会計収入決算額一覧

歳入(町の収入)	決 算 額
町 税	11億6622万円
地 方 交 付 税	39億6625万円
国 庫 支 出 金	6億9909万円
県 支 出 金	4億3041万円
分担金・使用料	1億6472万円
町債（借入金）	6億9510万円
そ の 他	8億9894万円
合 計	80億2073万円

※万円未満は端数を整理しています。





みんなで乗ろうフラワー長井線

歳出

（町の支出）

総務費

フラワー長井線を存続

議員 山形鉄道フラワー長井線は存続させていかなければならないと思います。山形鉄道の支援に関し、所見を伺います。

当局 現在、フラワー長井線を支援するために県と沿線市町で対策会議を持っています。基金残があと数年という状況のなかで、経営の新しい考え方も取り入れ

ていく必要があると思います。フラワー長井線の存続は、荒砥高校の存続ともリンクすることであり、何としても両方残すように頑張っていきます。

3・11東日本大震災への対応

議員 災害時緊急対応業務委託の内容を伺います。

当局 3・11の震災にあつては、緊急対応が必要となりました。町に災害対策本部を設置し、人的支援、物資の救援など種々の業務に対し機敏に対応するため業務委託しました。

ふるさと納税の効果は

議員 ふるさと応援費の効果と課題点を伺います。

当局 本町では、ふるさと納税していただいた方に、町の特産品をお送りしてい

ます。これはいへん好評でその申し込みは県でもトップクラスとなっております。

ショッピング感覚で納税していただく方もいますが町をPRするという観点では大きな意味があると思います。

エコドライブに努める

議員 エコドライブについては、町職員に対し充分な周知、指導がなされていますか。

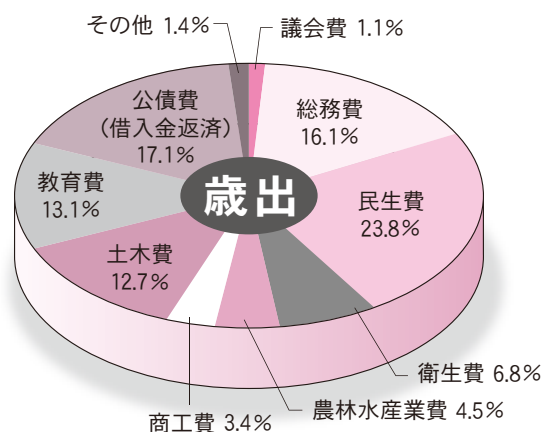
当局 省エネ対策のなかで職員も含めたエコドライブ研修を実施していますが、全職員まで広がっていないのも事実です。

交通安全、省エネの両観点から意識の啓蒙を、職員運転者協議会と連携をはかりながら努めていきます。

平成22年度一般会計支出決算額一覧

歳出(町の支出)	決算額
議会費	8356万円
総務費	12億1425万円
民生費	17億8634万円
衛生費	5億1435万円
農林水産業費	3億3343万円
商工費	2億5423万円
土木費	9億5435万円
教育費	9億8068万円
公債費(借入金返済)	12億8771万円
その他	1億509万円
合計	75億1401万円

※万円未満は端数を整理しています。





今日も一日はじまるよ（ひがしね保育園）

民生費

通園バスの実状は

議員 通園バス運行補助金とありますが、現在の運行の形態や実状を伺います。

当局 各保育園に、通園バス運行委員会を設置し運行しています。

利用料の保護者負担は、朝晩往復利用が月額2500円、片道が月額1500円となっています。不足分は、町が補助しています。

公平性・透明性の確保

議員 監査意見書の民生費でも見られる、業務委託の際の随意契約に対する所見を改めて伺います。

監査委員 随意契約は、その執行の際、起案文書の中に既決予算や法令根拠としては地方自治法施行令、財務規則に基づくことが原則になると思います。

内容については、金額・仕様書であり特に金額は原価計算が基本になると思います。内容を精査のうえで精度を上げながら公平性、透明性の確保に努めて事業執行にあたって欲しいと思います。

農林水産費

稲ホールクroppサイレイジ事業の効果

議員 稲ホールクroppサイレイジ事業の状況と、取り組みの成果・課題を伺います。

当局 環境保全型水田農業総合対策事業のなかで、堆肥の投入を支援することで15万7000円の事業費となっています。

耕種農家と畜産農家の連携がはかられたものと思います。一部の圃場で生育が

良好でないところもあったので、現地での作付け指導などを行っていきたくと考えています。

戸別所得補償制度の施行

議員 昨年農家への戸別所得補償制度が施行されました。当局ではどのようにとらえているのか伺います。

当局 交付を受けた件数は

598件、交付総額は1億9000万円でした。固定部分の10アール当り1万5000円と価格差を埋める変動の部分の交付額との合計は、10アールあたり3万円程でした。農家の収入ということでは、一定の効果があったものと思います。

歳出

（町の支出）



ホールクroppサイレイジ

土木費 町道の未登記処理状況は

議員 未登記処理業務委託料が62万8740円ですが件数・委託の方法を伺います。
また未登記件数はどのくらい残っているのか伺います。
当局 未登記処理は、平成8年度に地目上は道路敷地となっているが個人名義の土地を拾い出しました。

平成8年度から時間が経っているため、現在の税務課の図面上で、個人名義の公衆用道路敷地が町道か町道でないのかの突き合わせを直営で行いました。
現在の未登記件数は約2300筆です。

消防費 自主防災組織育成費の使途

議員 自主防災組織育成費がどのように使われたか伺います。

当局 東日本大震災前に、自主防災組織を地区に立ち上げるために自由に使える補助金として交付したものです。
広報や避難場所の案内板、発電機など器具購入にも使われています。

河川管理等

画像受信機とは

議員 河川管理等画像受信機が導入されているが効果について伺います。
当局 最上川に画像受信機を設置して、役場のテレビに接続して河川情報をリアルタイムに受信するものです。水位、交通、有事などに対応するためのものです。



河川管理等画像受信機（最上川堤防）

教育費

東陽の里グラウンドの現状は

議員 東陽の里グラウンドの平成22年度の利用者数と今後の整備に関する考え方を伺います。

当局 ナイター設備もありサッカーやレクリエーション大会などに使われています。利用回数148回、利用者数は7822人です。
サッカー協会や地区などから要望の多い、人工芝化を検討しています。

地域学校安全指導員とは

スクールバスの安全運行管理は

議員 地域学校安全指導員を配置しているが、どのような活動をしているか伺います。

当局 現在は1名配置で、町内の小中学校や各地区の見守り隊とも協力して登下校の安全指導を行っています。

協働のまちづくり

交付金は

議員 協働のまちづくり交付金の特徴的な事業を伺います。

当局 蚕桑地区公民館での高玉芝居上演など、町内6公民館で運営協議会を主体に独自の特色ある事業を行っています。



人工芝化が待たれる東陽の里グラウンド



奥山勝吉議員

町の均衡ある発展を

町長 荒砥と鮎貝地区を中心に

バランスのとれた都市施設の整備を展開

■町民サービスの強化は

奥山 川西地区は役場から遠く、役場での手続きが大変という話があるようです。高齢者の方に対応する町民サービスの強化をどのように考えますか。

副町長 国のほうでもコンビニや郵便局に行政端末を設置して、行政サービスをなるべく身近な所で受けられるようにしていくという考え方があるようです。町としては、国の動きを十分に見ながら対応をしていきます。

■小中学校の統合は

奥山 平成27年4月に新中学校の開校で西中学校が閉校になるようです。小学校

の統合は見送りになったようです。小学校は統合ありきではなく今後もなくさないためのあり方と、西中学校の利用計画がどうなるのか経済面への影響を含めてお聞きします。

教育長 中学校は計画通りに統合し、小学校は今後の出生率を見据えて改めて検討したいと考えています。統合後の地域への経済的な影響は、分析していません。地域の方と連携して考えていく大きな課題だと思っています。

■住民生活で

必要な施設は

奥山 四季の郷地内への企業誘致も決定しましたが、操業した時にコンビニなど



期待されるコンビニ出店

もない状況を解決する計画は出されていません。住民の生活に必要な施設として

官民連携のコンビニ出店など、今後の整備のあり方を伺います。

■西回りバイパスのルートは

奥山 白鷹町としての西回り高規格道路のルートは、田尻白山森線の未着工部分の利用をふまえたルートで考えられないのかをお聞きします。

町長 昨年度から、米沢白鷹間の幹線道路ということで、要望しているところで、荒砥橋を最優先に要望をすすめ、西回り幹線道路は県の方でもルートを引く状況ではなく、改めて地域の皆さんのお力添えを賜り、要望活動を展開していきたいと考えています。

■町の資源の

活用をどうする

奥山 この度、統合保育園の施設整備計画があり、町

有林（杉林）を黒鴨、浅立地区に所有していますが、保育園の施設整備への利用と、白鷹町にある木材を利用する考えはありますか。
健康福祉課長 木材の健康面の利点は独特のぬくもりや湿度・室温の調整、精神面での安定という特徴があり、施設整備にあたり木材利用を十分に検討し対応していきたいと考えています。



小口尚司議員

スポーツ公園を人材育成も視野に 入れたスポーツ交流施設に

町長 就業センターの老朽化対策を含んだ 仮称スポーツセンター構想をすすめています

■人づくり・人材育成は

小口 それぞれの個性を生かし、それぞれの分野で自己を表現し活躍できるような環境作りを行うことにより、人材の発掘と育成につなげ、人づくり・地域づくり、そして元気な町づくりへと、町民が主体となった取り組みを行うことが重要かと思いますが、考え方を伺います。

町長 人づくり・人材育成は町の根幹をなすものであり、志を持った若い世代の方々がさまざまな分野で自分を磨き、より高みを目指す環境をつくっていききたいと思っています。

■就業センターを含めた スポーツ公園をスポーツ 交流の拠点施設に

小口 野球場・ソフトボール場の使用頻度が高いなかでの老朽化している就業センターを含めた周辺整備の考え方を伺います。

町長 就業センターの老朽化対策を含んだ、仮称スポーツセンター構想について

町体育協会とともに構想づくりをすすめています。

既存のスポーツ施設の役割をふまえ、スポーツ交流の拠点施設となるようにしていきたいと考えています。

運営に関しては、町直営でなく体育協会や総合型地域スポーツクラブの事務局機能が強化して、これらの団体が主体となつてできないかなどの検討をしているところで。

■生涯学習振興計画の 進捗よく状況は

小口 新たな生涯学習振興

計画策定の進捗よく状況を伺います。

教育長 今までの計画の成果・課題の洗い出しを行いながら力を入れていくべき点などを整理し、社会教育委員の方々を中心に策定をすすめているところで。

また、町民の方々のご意見も参考にさせていただく方法の検討をすすめています。

■町民の声の反映は

小口 計画のなかに町民の声をどのように反映させるかが大きなポイントとなつ

てくると思います。具体的な反映の方法を伺います。

教育次長 社会教育委員の方々で一般公募委員などは、一般町民の方のご意見をお伺いするという位置づけと考えています。また、社会教育事業をしているときのアンケート調査なども参考にしたいと思っています。

■「スポーツ基本法」 施行の影響は

小口 この度「スポーツ基本法」が施行されましたが、当町のスポーツ振興にどのような影響をもたらすと考えていますか。

教育長 さまざまなスポーツに関する条件整備が求められています。健康・生活スポーツ環境の整備、競技スポーツの推進、指導者の育成などをはかりながら、安心・安全なスポーツ環境を作るために「スポーツ基本法」に基づいた具体的な施策をすすめていかなければならないと考えています。



就業構造改善センター



新野いく子議員

食育の周知度をどうとらえる

町長 各分野で実践し、

認識も年々向上している

■広報活動を展開

新野 現在の町民の食育という言葉についての周知度は、どのくらいとらえていますか。

町長 福島第一原子力発電所の事故による放射能問題を受け、食に関する関心はかつてないほど高まっていると感じています。健康を守り、子供たちの健全な育成をはかるためにも食育の一層の広報活動を展開していく必要があると思います。

総合的に判断すれば、具体的な数値は持ちあわせていませんが各分野で実践し、その認識も年々向上していると思います。

■放射能汚染の取り組みは

新野 乳幼児や小さな子供達の健康への不安を訴えられています。町民向け講習会、職員向け研修会の開催など今後の取り組み予定を伺います。

町長 町民の皆様には正確な情報を提供することが重要だと認識しています。特に町民の方を対象とした講習会も計画しており、近々ご案内できるものと思っています。

■今こそ食育、地産地消を

新野 食育をキーワードにして、地場産物の放射能検査をして安全性を確認し、食の安全性や品質に関する

情報を提供しセールスポイントとして地産地消を推進してはいかがですか。

町長 放射能検査に関しては、国・県と連携したなかで調査結果を公表しています。

放射能を測定することは必要と思いますが県の調査を信頼し、また白鷹産のものを使用していきたいと考えています。

■放射能と食べ物の関係は

新野 食品安全委員会は、食品に含まれる放射能物質の健康への影響について生涯100ミリシーベルト案を出しましたが、子供の目安を示していません。赤十字国際キエフ支部が配布し



食の安全としらたかの食育

から情報を収集し内容を確認しながら、展示・販売をすすめていきたいと考えています。

また、状況によっては近隣の市町村と連携協力しながら対応していきたいと思っています。

町長 町産業の活性化をはかりたいとは考えますが、全面的に行政が支援するのも難しいので、町内の組織とも十分な協議をしながら取り組んでいく必要があると思います。

■古典桜を通じた交流

新野 「古典桜の里 白鷹町」にあなただけの桜の木を植樹」を世界に発信してみたいかがですか。

町長 古典桜に関する情報を国内外に発信するとともに、二世木の状況の調査整理をして、植栽されている市町村との古典桜を通じた交流の拡大を検討したいと思います。

■さいたま市の道の駅構想

新野 東京の白鷹サテライトオフィスの前所長から、さいたま市で道の駅構想があるとお聞きしています。その取り組みについての対応を伺います。

産業振興課長 さいたま市

質疑

一般会計

財政調整基金積立などに

2億3161万円を追加

総額75億612万円となる

補正の主なもの

- 一般会計補正予算の主なものは
 - ・ 分庁舎敷地購入費 829万円
 - ・ 財政調整基金積立 1億円
 - ・ 保育園運営委託料 2630万円
 - ・ 放射能自主検査事業補助金 50万円
 - ・ 農業用河川工作物応急対策事業負担金 1968万円
 - ・ 鮎貝地区企業立地促進事業補助金 1500万円
 - ・ 除雪車運行管理システム使用料 395万円
 - ・ 県消防補償等組合負担金 1528万円
- 財源は国県支出金、町債などで対応します。

■期待される効果は

議員 除雪車運行管理システム導入で期待される効果を伺います。

当局 除雪車の位置や除雪の進捗よく状況が把握できます。町民の問い合わせや苦情など、また今年度から直営が廃止になるので直営の代替として他業者の支援も含めて速やかに対応でき

ます。

町と業者の事務作業が、作業開始、終了ボタンを押すだけで、最終的な日報、月報、請求書までの作成が可能となり事務の簡略化・効率化がはかれると考えています。

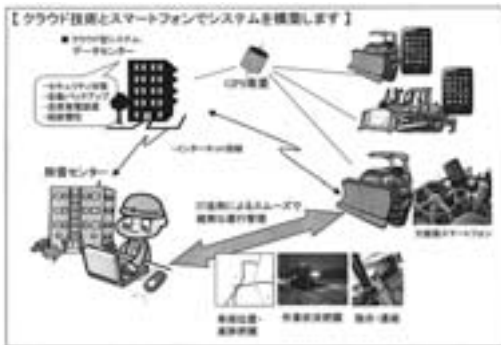
■周知・検証が必要

議員 町民の皆様へ周知しその効果を検証し見直しす

することも必要と思いますがどうですか。

当局 町報で、直営の廃止や運行管理システムの周知を考えています。

GPSを使用した除雪に關しては、実績がありません。導入効果については、来春の段階で検証しなければならぬと考えています。



除雪車運行管理システム

平成23年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一	般 会 計	2億3161万円	75億 612万円
特 別 会 計	下 水 道	1186万円	5億3821万円
	国民健康保険	293万円	16億3508万円
	農業集落排水	347万円	1億5165万円
	介護保険	3728万円	14億2033万円
	後期高齢者医療	179万円	1億3467万円
企 業 会 計	水 道 収 益 的 出 支	▲256万円	2億9700万円

条 例

■企業立地の促進をはかるため

土地・構築物の取得価格の合計が2億円（農林漁業関連業種は5000万円）を超えることを要件とし、固定資産税が免除になります。

■3万円から10万円に引き上げ

町税や国民健康保険税の不申告の過料の上限を3万円から10万円に引き上げます。

■5000円から2000円に引き下げ

寄附金控除の適用下限額を5000円から2000円に引き下げます。

委員会レポート

常任委員会

総務厚生

統合保育園の開設は25年4月

9月12日に本委員会を開催し、請願審査2件と所管事務調査を行いました。

原子力発電所の廃止を求める意見書提出方請願と地方財政の充実・強化を求める請願は、全会一致で採択しました。

① 荒砥高校をサポートする会の状況など

② 土地(宅地)の評価額

③ 国民健康保険広域化等支援方針

④ 子育て支援拠点施設整備事業

⑤ 放射線量の調査についてなどに関し各担当課から説明を受けました。

①では、荒砥高校来年度の新生入生にホームヘルパー2級の資格取得ができるような支援をしていきたいとの説明がありました。

委員から、どのようにして運動を盛り上げるかの問いに、入学者の確保が大事であり、10月からの進路指導で保護者・生徒にシステムや町の支援を説明していきたいとの答弁がありました。

た。

②について、委員から評価替えにより鮎貝土地区画整理地内への価格に影響するかの問いに、土地の評価の推移を見ながら対応しているとの答弁がありました。

④では、スケジュールを早め、25年4月開設の方向ですすめていきたいとの説明がありました。

⑤については委員全員で、荒砥小学校のグラウンドで放射線量の測定を行いました。結果は0.08マイクロシーベルトで問題のない数値でした。



放射線量測定(荒砥小学校グラウンド)

産建文教

直営廃止により町民サービスの確保は

9月14日に本委員会を開催し、請願審査1件と所管事務調査を行いました。

町道佐野線の道路整備についての請願は、全会一致で採択されました。

① 荒砥橋架け替えの進捗状況

② 除雪計画

③(財)白鷹町アルカディア財団の経営改善計画について

などに関し各担当課から説明を受けました。

①では、県は現橋よりやや下流のルートを最適案としてすすめていく意向との説明がありました。

②について、委員から、直営廃止により町民サービスを低下させないということとを確保できるのかとの問いに、除雪の管理は町が責任を担っていかねばならないし、地元の実状を熟知している民間業者もメンテナンスも含めたノウハウを確保していかなければならないとの答弁がありました。

また、直営代替業者の選定と、業者が社減少したことも含めて路線配置を行うとの説明がありました。

③について、委員から、公認会計士から出された経営改善計画書のなかに「経営者が誰か」と書かれてあるが当局はどのような認識を持っていかとの問いに、財団は受託者として一生懸命経営にあたってほしいと書いてあり、受託者としての財団の責任が示されているものとの答弁がありました。

請願が出された町道佐野線の現地調査をしました。



現地調査(町道佐野線)

請願

審査の結果はどうなった

採択された請願

- 町道佐野線の道路整備について
請願者 山口区長 高木 隆一
ほか1名
- 原子力発電所の廃止を求める意見書提出方請願
請願者 地域のエネルギーを考える
有志の会 世話人 新野 祐子
ほか1名
- 地方財政の充実・強化を求める請願について
請願者 連合置賜議長 金子 浩

人事

9月30日で任期満了となる白鷹町教育委員会委員に吉田博之氏が再任されました。



教育委員会委員

吉田博之氏(再任)

白鷹町選挙管理委員会

委員

竹田 謙一氏 影山 長助氏
早坂 明美氏 竹田 敏恵氏

補充員

樋口 康男氏 山口 祐輔氏
新野八重子氏 竹田美智子氏

お詫び

前号(111号)7ページ「27人(介護4・5)が待機の状況になっています。」の記事は、「待機者は50人前後という状況です。」の誤りでした。深くお詫び申し上げます、訂正いたします。

意見書提出

議員発議

○日本海国土軸の構築と社会資本整備を求める意見書

日本海国土軸の早期構築に必要な社会資本の整備を早期にはかれるよう強く要請する。

○原子力発電所の廃止を求める意見書

政府は、早期に原発廃止のスケジュールを国民に示し、自然エネルギーへの転換を推進すること。原発事故の放射能汚染による被害の拡大をくいとめること。

○地方財政の充実・強化を求める意見書

医療、福祉分野の人材確保をはじめとするセーフティネット対策の充実、農林水産業の再興、環境対策など、今後増大する財政需要を的確に取り入れ、2012年度地方財政計画・地方交付税総額を確保すること。

議会広報特別委員会

著作権って何？

7月28日と29日の両日、東京都で開催された「第74回全国町村議会広報研修会」に広報委員全員が参加しました。山形新幹線が福島駅まで雨量が基準値を超えたため不通となり、予定より2時間ぐらい遅れての研修となりました。

今回は「著作権侵害は犯罪とされている。著作権とは何か、なぜ大切なのかをもっと知る必要がある。」ということを認識させられた研修でした。



第74回全国町村議会広報研修会(東京都)

追跡

— あの質問のゆくえ —

限界集落予備軍への対応は

人口が減り高齢化がすすむ集落では、消防体制などの集落機能の維持も困難な状況です。町は特別な対応をとる必要があるのではないですか。

平成19年3月定例議会

町長答弁

今後のまちづくりの大きな課題

本町では高齢化率が50%を越す限界集落はありませんが、予備軍といえるところはあります。各々の集落に応じ地域のなかや周辺の方々の話し合いのなかで知恵を出し合い、方向性を明確にしていくことは大事なことです。今後のまちづくりの大きな課題の一つととらえ、新たな枠組みを考えていく必要があります。

どうなった



かつての運動会（大瀬地区）

集落支援員を配置

平成22年7月より、集落対策モデル事業として、集落の地域活性化をはかるため、高齢化率が60%に近い「大瀬区」に、集落支援員1名を配置しました。

集落支援員は、大瀬区の安全・安心のための世帯巡回を始め、地域での集会の開催、「敬老会」の復活や、60歳以上を対象とした「いきいきサロン」を始動しています。これらにより、地域の連帯が一層強まることを期待しています。

今後も集落支援員の配置を継続しながら、自立したコミュニティとしてのあり方を検討していきます。

議会だよりのご意見・ご感想などを議会事務局(表紙参照)までお寄せください。



真剣な議会傍聴

町民の声

蚕桑地区公民館の婦人学級「おつみ学級生」15名で議会を傍聴しました。傍聴席に入ると他の団体もあり、人の多さに驚きました。その日は80人と聞いて町民の関心の高さがうかがえました。

蚕桑、鮎貝地区に焦点をおいた議員の質問は、私たちの生活に密着しており、大変興味深く聴くことができました。少子高齢問題など白鷹町に山積する課題について、町民と行政の橋渡しとなる開かれた議会の開催を期待します。

(60歳代 女性)

編集後記

収穫の秋を迎えました。心配された放射線量も当町では問題がなく、収穫された農産物が安全で「ホッ」としております。

今回、審議された決算は歳入面での課題はあるものの良好な内容と思われれます。今後は、今年度からスタートした「第5次白鷹町総合計画」への取り組みになります。

先般、全議員で長野県に研修に行ってきました。そこは山奥で水稲の作付けもままならない地に、協同の力でレタスやセロリの産地を築き、人口増加に結びつけている村でした。農業への執着が、逆転的な発想となり、実を結んだものと思われれます。

議会報も、「笑顔かがやき・心かよう・美しいまち」づくりの一端を担えるようにがんばります。

(山田)

発行責任者・議長
青木 彰 榮
広報委員
委員長 千鶴子
副委員長・編集長 山田 仁
委員 樋口与一朗
委員 田中 孝
委員 新野いく子
印刷・長谷川印刷